



清 央 小 だ よ り

令和5年度 第5号
2023. 5. 29

教 育 目 標	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」 ・自ら学び工夫する子ども (考える) ・元気でがんばる子ども (鍛える) ・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)
---------	---

みんなの思い 勝利の笑顔を咲かせよう

令和5年度の運動会は、白組の2連覇で幕を閉じました。どの種目も、子どもたちのみなぎる気力や真剣さ、相手に対するリスペクトの気持ちが表現され、素晴らしい熱戦が繰り広げられました。開会式では、“応援に駆けつけてくださった皆さんに、元気と感動を与えられるような運動会を創りあげましょう。そのためにすべきことはただひとつ、最後まであきらめず、一所懸命に競技すること。”と話しました。そして、子どもたちはその期待に存分に応えてくれました。



前日まで降り続いた雨の影響で、準備は当日の朝に持ち越されました。その分、舞台裏のメイキングにはたくさんのドラマがありました。5、6年生は、当日の準備ができるだけ短時間でできるようにと、テーブルやイスを運び出すなど工夫して取り組んでいました。前々日には、降りしきる雨の中、学校管理課機動班の皆さんが、テント12張りと入退場の柱を設営してくれました。(前日には雨で緩んだ門柱の手直しもしてくれました)。当日の朝早くには、清原中央ジャイアンツのお父さんが、グラウンド全体にブラシをかけ、水たまりの吸水作業もしてくださいました。閉会式での惜しくも敗れた赤組への拍手はとても温かなものでした。閉会後には、たくさんの保護者の皆様が撤収作業にあたってくださいました。私の知る限り、「30分ですべての撤収を完了！」というのは、ぶっちぎりの最短記録です。本当にありがとうございました。

“みんなの思い”の“みんな”というのは選手たちだけではなく、この運動会に携わったすべての人のことをだったのでしょ。 “勝利の笑顔”だって、最後まで全力で競技してくれたライバルがいたからこそ、あんなに輝かしく咲いたのです。終わってなお、 さんの考えたスローガンに思いをはせる、そんな令和5年度の運動会でした。

蛇足になりますが、こんな感動を、当事者として真ん中で感じることでできる“学校”という職場はやっぱり最高です。“笑い20%増量！”の令和5年度が幸先よくスタートしました。運動会は終わってしまいましたが、みんなの思いが笑顔となって花開く、そんな清央小の1年を、みんなで創りあげていきましょう。

※ 運動会の写真は、本校のホームページでたくさん紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>



1年生も授業に集中



プールのろ過装置が新しく！



6年生が去年植えたどんぐりが、順調に育っています！